

科目名	国際看護学特論／Global Health Nursing in Master's Program
科目番号	01EA233
授業形態	講義
標準履修年次	1
実施学期・曜時限等	春A・C 月5・6限
実施場所	共同利用棟B206
単位数	2単位
担当教員名	竹熊 カツマタ 麻子/Asako T. Katsumata 杉本 敬子/Keiko Sugimoto トゴバタラ ガンチメゲ/ Ganchimeg Togoobaatar 福澤 利江子/Rieko Fukuzawa
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること asakotk@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	1) グローバルヘルスやプライマリヘルスケアについて学び、自分の関心国の健康問題について国際的な視点で理解することにより、得られた知識を学位論文に活用できる力をつける。 2) 学位論文研究の基礎を養う上で必要な国際保健に関する知識や文献の読み方などの研究方法について理解できる。
他の授業科目との関連	この科目の後に、国際看護学演習の前に位置づけられる科目
履修条件	
授業概要	グローバルヘルスという大きな枠組みの中で看護を実践するには、実践を行う場における対象、社会、文化、政治、経済、教育、宗教など様々な要素について理解しなければならない。本特論でWorld Health Organization(WHO)のグローバルヘルスプログラムのモデルであるPrimary Health Care (PHC)をはじめ国際看護の実践に不可欠な理論や実践モデルについて学び、看護がグローバルヘルスに貢献するための示唆を得る。
キーワード	国際保健、プライマリヘルスケア、研究 global health, primary health care, research
授業計画(春A)	1(4/15): コースの概要と自己紹介・・・カツマタ 2(4/15): グローバルヘルスとプライマリヘルスケア(PHC)・・・カツマタ 3(4/22): 国際看護学で用いる研究方法: 研究者のキャリア・・・福澤 4(4/22): 学生のプレゼンテーションとフィードバック(研究トピック)・・・福澤 5(5/9): 国際看護学における看護研究者の役割と研究の例・・・カツマタ 6(5/9): 学生のプレゼンテーションとフィードバック(RQのたまご)・・・カツマタ 7(5/13): ...研究論文の読み方・・・ガンチメゲ 8(5/13): 学生のプレゼンテーションとフィードバック(RQのたまご)・・・ガンチメゲ 9(5/20): 国際看護学で用いる研究方法: 理論的枠組み・・・カツマタ 10(5/20): 学生のプレゼンテーションとフィードバック(RQのたまご)・・・カツマタ
授業計画(春C)	11(7/1): 国際看護学で用いる研究方法: 研究デザイン・データ収集・・・福澤 12(7/1): グローバルヘルスとプライマリヘルスケア(PHC)・・・福澤 13(7/8): 文献検討: システマティックレビュー・・・ガンチメゲ 14(7/8): 学生のプレゼンテーションとフィードバック1(RQ1)・・・ガンチメゲ 15(7/19): 国際看護学で用いる研究方法: 研究倫理・・・杉本 16(7/19): 学生のプレゼンテーションとフィードバック1(RQ2)・・・杉本 17(7/22): 国際看護学で用いる研究方法: 論文の書き方(APA)・・・杉本 18(7/22): 学生のプレゼンテーションとフィードバック2(RQ3)・・・杉本 19(7/29): 学生のプレゼンテーション(今後の課題)・・・全員 20(7/29): まとめ・授業評価・・・全員
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	(注)学修時間と単位について 講義 30時間(授業時間外15時間)

成績評価方法	<p>15/20コマ以上の出席を単位取得の要件とし、最終評価が60点以上をもって単位を認定する。</p> <p>【評価方法と評価配分】 授業出席と参加の状況(毎回のミニプレゼンテーションを含む)60%、学期末プレゼンテーション40%(*1) *1) 学期末プレゼンテーション: 関心トピックの文献を読み、自分のリサーチクエスチョンの国際的な意義についてプレゼンテーションをおこなう</p>
教材・参考文献・配布資料等	
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	